



熊本県での鳥インフルエンザ発生に伴う風評被害の防止について

(一社) 日本種鶏孵卵協会会長から、熊本県において発生した高病性鳥インフルエンザに関連した風評被害の防止について、会員への周知依頼がありましたのでお知らせします。

日孵協 28 発第 56 号
平成29年1月6日

一般社団法人 日本養鶏協会
会 長 齋藤 利明 殿

一般社団法人 日本種鶏孵卵協会
会 長 山 本 満 祥



熊本県において発生した鳥インフルエンザに関連した風評被害の防止について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から種鶏孵卵業の振興につきましては、格段のご支援とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知のように、我が国の種鶏孵卵業界は、養鶏産業の基幹的部分として、健全なヒナの安定供給を通じて、鶏卵鶏肉の安定供給に寄与してきたところであります。

この度の熊本県において発生した高病原性鳥インフルエンザに関連しまして、発生農場では食用卵のみを生産していました。このため、発生農場とは直接関係のない農場由来の種卵のみを制限区域外の孵化場で孵卵し、養鶏農家の皆様方に健全なひなを安定供給しているところです。

先般、一部の採卵鶏農場において、今回の高病原性鳥インフルエンザの発生を理由に、当該孵化場からの初生ひなの購入を拒んでいる事例が見られたと伺っています。こうした科学的根拠に基づかない風評被害は、業界に無用の混乱を発生させるだけであり、健全な初生ひなの安定供給を通じて、養鶏農家の皆様方の経営安定に寄与していく立場として、非常に残念なことであります。

今後も、引き続き徹底した衛生管理の下で、これまでと同様、清浄な初生ひなの安定供給に尽力してまいりますので、今回のような風評被害が生じないよう、貴協会会員に周知していただくようお願い申し上げます。

謹白

【日鶏協速報】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内 (5階)

TEL : (03) 3297-5515 FAX : (03) 3297-5519 発行日 2017年1月6日

編集・発行責任者：小田上浩史 (info@jpa.or.jp)

